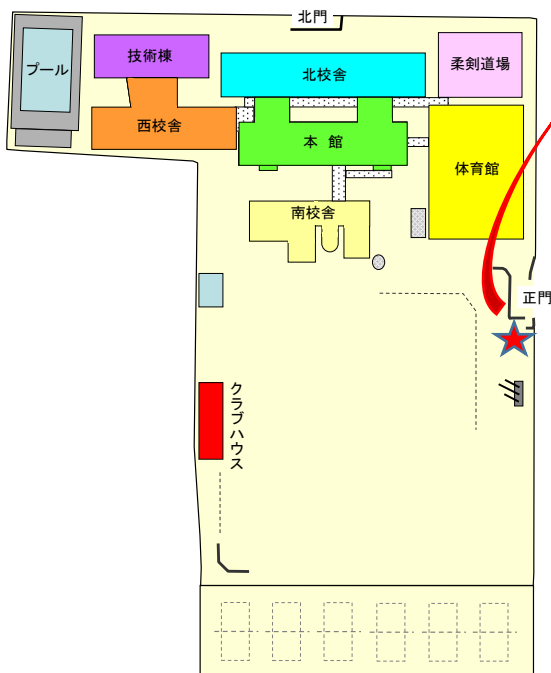


(1) 記念碑



正門を入った左手に歴史的にも価値のある巨大な石碑があります。

「光輝」と書かれた文字に続いて「明治百年記念」「内閣総理大臣 佐藤栄作」と刻まれています。昭和43年に、時の総理大臣にお願いして言葉を書いてもらった直筆の文字を彫って、久米公民館と有志によって建立された貴重な石碑だそうです。

その石碑の裏には、著名な郷土史家であった景浦勉氏による、久米地区の歴史が以下のように簡潔にまとめられています。



久米地区は原始時代から文化が栄え
今に残る古墳を始めとして神社仏閣
史跡池溝などは古い歴史と輝かしい
伝統とを物語っている。ことに明治
時代以後は県下屈指の雄村として注
目せられこの間郷土づくりに貢献し
た多数の人材を輩出している。さら
に最近における住宅地域の造成観光
資源などの開発によって画期的な躍
進をとげようとしている。われわれ
は今日の繁栄を思う時その進展のか
げに地味な努力をつみ人のため世の
ために一生をささげたかたがたの貴
重な存在を忘れてはならない。これ
ら先人のかくれた業績を敬慕し顕彰
するとともにそれらの遺業をふまえ
て明日へのめざましい活躍に期待し
たい。明治百年を迎えるに当たり地
区住民の総意にもとづき記念碑をた
て過去を回顧し将来への雄飛を念願
する次第である。

昭和四十三年五月 景浦勉 撰
松山市久米公民館 建